

作成日 令和 2年 6月 23日
改訂日 令和 4年 5月 16日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	ライトクリスタル Z-LIP
製品整理番号	BA137
供給者の会社名称	株式会社ウォーターエージェンシー
住 所	162-0813 東京都新宿区東五軒町 3 番 25 号
担当部門	ケミカルサービス事業本部
TEL	03-3267-4073
FAX	03-3267-4106
緊急連絡電話番号	同 上
推奨用途および使用上の制限	脱臭剤

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

物理化学的危険性

爆発物	区分に該当しない
可燃性ガス	区分に該当しない
エアゾール	区分に該当しない
酸化性ガス	区分に該当しない
高压ガス	区分に該当しない
引火性液体	分類できない
可燃性固体	区分に該当しない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	区分に該当しない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	区分に該当しない
有機過酸化物	区分に該当しない
金属腐食性化学品	分類できない
鈍性化爆発物	区分に該当しない
健康に対する有害性	
急性毒性(経口)	区分5
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:気体)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉塵)	区分に該当しない
急性毒性(吸入:ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	区分1
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性	区分1
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	分類できない
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	分類できない
誤えん有害性	分類できない
環境に対する有害性	
水生環境有害性 短期(急性)	区分に該当しない
水生環境有害性 長期(慢性)	分類できない
オゾン層への有害性	分類できない

GHSラベル要素
絵表示又はシンボル



注意喚起語
危険有害性情報

危険
飲み込むと有害のおそれ
重篤な皮膚の薬傷・眼の損傷
重篤な眼の損傷

注意書き
＜安全対策＞

・保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
・ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
・取り扱い後は手をよく洗うこと。

＜応急措置＞

・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。気分が悪い時は医師に連絡すること。
・皮膚(又は髪)に付着した場合：汚染された衣類を直ちにすべて脱ぐこと。皮膚を水又はシャワーで洗うこと。直ちに医師に連絡すること。汚染された衣類を再使用する場合には洗濯すること。
・眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。直ちに医師に連絡すること。
・施錠して保管すること。
・内容及び容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託して廃棄すること。

＜保管＞
＜廃棄＞

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別	混合物		
化学名又は一般名	①鉄水溶性塩	②抗菌剤	③有機酸
化学物質を特定できる一般的な番号	①CAS No. 有り	②CAS No. 有り	③CAS No. 有り
化学式	①非開示	②非開示	③非開示
成分及び濃度又は濃度範囲	①鉄として 10w/w%	②抗菌剤 非開示	③有機酸 非開示
官報公示整理番号（化審法）	①化審法番号有り	②化審法番号有り	③化審法番号有り
（安衛法）	① —	②公表化学物質	③公表化学物質

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させ、鼻をかませ、うがいをさせる。
皮膚に付着した場合	汚染部位を水と石鹸を使い、入念に洗い落とす。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合は、医師の診断を受ける。
眼に入った場合	直ちに清浄な水で 15 分間以上洗眼した後、専門医の手当てを受ける。
飲み込んだ場合	水でよく口の中を洗浄し、飲料水を大量に飲ませた後、直ちに医師の手当てを受ける。
急性症状及び遅発性症状並びに最も重要な兆候及び症状	知見なし。
応急措置をする者の保護に必要な注意事項	漏出物を避け、必要な保護具を着用する。保護手袋、保護眼鏡、必要に応じてマスクなど接触やばく露を避けられる保護具を着用する。
医師に対する特別な注意事項	知見なし。

5. 火災時の措置

適切な消火剤	水、粉末、炭酸ガス等
使ってはならない消火剤	特になし。
火災時の特有の危険有害性	特になし。
特有の消火方法	不燃性。周辺火災の場合、速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合、容器および周辺に散水して冷却し消火する。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火の際には、必ず保護具を着用し、風上から作業を行うこと。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、
保護具及び緊急時措置
環境に対する注意事項
封じ込め及び浄化の方法
及び機材

作業の際には必ず保護具を着用する。

流出した製品が高濃度で河川等に排出され、環境への影響を起こさないように注意する。

少量の場合には、ウエス等で拭き取り、残りは消石灰、炭酸カルシウム、ソーダ灰等で中和し、多量の水で洗い流す。

多量の場合には、漏出した液は土砂等で流れを止め、吸着させる。又は安全な場所に導き、消石灰、炭酸カルシウム、ソーダ灰等で中和し、多量の水を用いて洗い流す。

特になし。

二次災害の防止策

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策
局所排気・全体換気
安全取扱注意事項

皮膚や眼に触れないように保護手袋、保護長靴、保護眼鏡を着用する。

『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。

手洗い、洗眼等の設備を設け、取り扱い後にうがいをし、手、顔等をよく洗う。作業服に付着した場合は、その汚れをよく洗い落とす。

次亜塩素酸ソーダ、サラン粉、塩素系漂白剤との混合を避ける。

接触回避

『10. 安定性及び反応性』を参照。

衛生対策

取り扱い後は手をよく洗うこと。

保管

安全な保管条件

直射日光を避け、密栓して冷暗所に保存する。耐酸性材質(ポリエチレン、FRP、ゴムライニング容器、SUS316等)の容器に密閉保存する。

安全な容器包装材料

国連輸送法規で規定されている容器を使用する。

8. ばく露防止及び保護措置

管理濃度

設定されていない。

許容濃度

日本産業衛生学会(2017年度版)
ACGIH(2013年度版)

設定されていない。

設定されていない。

設備対策

取扱場所の近くに洗眼設備および洗面設備等を必要に応じて設置する。

保護具

呼吸用保護具:必要に応じて呼吸器保護具を着用する。

手の保護具 :耐酸性手袋を着用する。

眼、顔面の保護具 :側板付き普通型又はゴーグル型保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具 :長袖作業衣およびゴム長靴を着用する。

特別な注意事項

特になし。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態

液体

色

黒緑色

臭い

無臭

融点/凝固点

データなし

沸点又は初留点および沸点範囲

データなし

可燃性

データなし

爆発下限界及び爆発上限界/

データなし

可燃限界

引火点

データなし

自然発火点

データなし

分解温度

データなし

pH

2以下 (20°C)

動粘性率

データなし

溶解度

水に任意溶解

n-オクタノール/水分配係数(log 値)

データなし

蒸気圧

データなし

密度及び/又は相対密度

1.47±0.05 (20/4°C)

相対ガス密度

データなし

粒子特性	データなし
蒸気密度	データなし
粘度	データなし

10. 安定性及び反応性

反応性	知見なし。
化学的安定性	常温、常圧で安定。
危険有害反応可能性	自己反応性なし。
避けるべき条件	火気、高温物との接触を避ける。
混触危険物質	酸化剤、還元剤、塩基、金属との接触を避ける。
危険有害な分解生成物	通常条件ではなし。
その他	アルミニウムに対して腐食性有り。

11. 有害性情報

急性毒性	経口：マウス LD ₅₀ =2,236mg/kg (推定値)より区分5とした。 経皮：データがなく分類できない。 吸入(気体)：区分に該当しない。 吸入(蒸気)：データがなく分類できない。 吸入(粉塵)：区分に該当しない。 吸入(ミスト)：データがなく分類できない。
皮膚腐食性／刺激性	本製品 pH が 2 以下であるため、腐食性物質。放置すると潰瘍を生じることがある。皮膚、粘膜に刺激性がある。以上のことから製品としては区分1とした。
眼に対する重篤な損傷性 ／眼刺激性	本製品 pH が 2 以下であるため、重篤な眼の損傷を起こす。腐食性物質。以上のことから製品としては区分1とした。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	データがなく分類できない。
生殖細胞変異原性	データがなく分類できない。
発がん性	データがなく分類できない。
生殖毒性	データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	データがなく分類できない。
特定標的臓器毒性(反復ばく露)	データがなく分類できない。
誤えん有害性	データがなく分類できない。

12. 環境影響情報

生態毒性	
水生環境有害性 短期(急性)	分類される成分の区分、含有量から推定し、製品としては区分に該当しないとした。
水生環境有害性 長期(慢性)	データがなく分類できない。
残留性・分解性	加水分解により、水酸化物の沈殿を生じる。
生体蓄積性	データなし。
土壌中の移動性	データなし。
オゾン層への有害性	データがなく分類できない。

13. 廃棄上の注意

化学品(残余廃棄物)、当該化学品が付着している汚染容器及び包装の安全で、かつ環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。都道府県知事などの許可を受けた専門の廃棄物処理業者、もしくは地方公共団体がその処理を行っている場合にはそこに委託して処理する。 容器は清浄してリサイクルするか、関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去する。
---------------------------------------------------------------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

14. 輸送上の注意

国際規制	
海上規制情報	IMOの規定に従う。
国連番号	3264
品名	CORROSIVE LIQUID,ACIDIC,INORGANIC,N.O.S.
国連分類	8
容器等級	III
海洋汚染物質	Not applicable

航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。
国連番号	3264
品名	CORROSIVE LIQUID,ACIDIC,INORGANIC,N.O.S.
国連分類	8
容器等級	III
国内規制	
陸上規制情報	非該当
海上規制情報	船舶安全法の規定に従う。
国連番号	3264
品名	その他の腐食性物質（無機体、液体、酸性のもの）
国連分類	8
容器等級	III
海洋汚染物質	非該当
航空規制情報	航空法の規定に従う。
国連番号	3264
品名	その他の腐食性物質（無機体、液体、酸性のもの）
国連分類	8
容器等級	III
輸送又は輸送手段に関する 特別な安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。 食品や飼料と一緒に輸送してはならない。 他の危険物や燃えやすい危険物に上積みしない。 他の危険物のそばに積載しない。
緊急時応急措置指針番号	154

15. 適用法令

労働安全衛生法	名称等を通知すべき危険物及び有害物(法第 57 条の 2、施行令第 18 条の 2 別表第 9) 鉄水溶性塩(政令番号:352)
化学物質排出把握管理促進法	非該当
船舶安全法	腐食性物質(危規則第 2, 3 条危険物告示別表第 1)
航空法	腐食性物質(施行規則第 194 条危険物告示別表第 1)
水質汚濁防止法	指定物質(法第 2 条第 4 項、施行令第 3 条の 3) 鉄及びその化合物(政令番号:52)
下水道法	水質基準物質(法第 12 条の 2 第 1 項、施行令第 9 条の 4) 鉄及びその化合物(溶解性) (政令番号:31)
水道法	有害物質(法第 4 条第 2 項)、水道基準(平 15 省令 101 号)
毒物及び劇物取締法	非該当
海洋汚染防止法	有害液体物質 Y 類物質(施行令別表第1)

16. その他の情報

・記載内容の取り扱い

全ての資料や文献を調査した訳ではないため、情報洩れがあるかも知れません。また、新しい知見の発表や従来の説の訂正により内容に変更が生じることがあります。

重要な決定等にご利用される場合は、試験によって確かめられる事をお勧めします。なお、含有量、物理化学的性質等の数値は保証値ではありません。また、注意事項は、推奨用途上の通常の取り扱いを対象としたものなので、推奨用途から外れる特殊な取り扱いの場合には、この点にご配慮をお願いします。

・問合せ先

担当部門 ケミカルサービス事業本部

電話番号 03-3267-4073 FAX 番号 03-3267-4106